

出品目録

国・歌川
奇才絵師の魔力展

2025 9 | 25 木 ▶ 11 | 24 月 休

前期:9月25日(木)〜10月26日(日)／後期:10月28日(火)〜11月24日(月・休)

[休館日]月曜日 ※ただし10月6日、13日、11月3日、24日は開館

[主催]山口県立美術館、読売新聞社、KRY山口放送 【特別協賛】西京銀行

山口県立美術館 <https://y-pam.jp>

※出品作品はすべて個人蔵です。 ※作者が歌川国芳以外の絵師あるいは合作の場合は、作品名欄に作者名を記しています。

※会期中、前期・後期で大幅な展示替えがあります。各作品の展示期間は グレーで表しています。

※作品No. は図録の作品番号と一致しますが、展示の順番ではありません。本目録の作品掲載順は、概ね展示順となっています。

※山口会場の各章の番号は、会場構成の都合により、図録の章番号と異なります。

※no.39・366は通期展示作品ですが、前期・後期で展示場所が大幅に変更されます。

※「团扇絵」のコーナーには、役者絵(no.125〜135)と美人画、2ジャンルの团扇絵を展示しています。

No.	作品名	判型・形状／材質技法／員数	制作年	前期	後期
-----	-----	---------------	-----	----	----

1. 武者絵・説話―躍動する奇傑

ワイドスクリーン×国芳の絵画力

66	弁慶が勇力戯に三井寺の梵鐘を叡山へ引揚る図	大判三枚続	弘化2〜3年(1845〜46)頃	○	
67	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	大判三枚続	嘉永4年(1851)		○
74	大江山酒呑童子	大判三枚続	嘉永4年(1851)	○	
63	鬼若丸の鯉退治	大判三枚続	弘化2年(1845)頃		○
64	宮本武蔵の鯨退治	大判三枚続	弘化4年(1847)頃		○
100	龍宮玉取姫之図	大判三枚続	嘉永6年(1853)	○	
59	蝦蟇仙人と相馬太郎良門	大判三枚続	弘化2〜3年(1845〜46)頃		○
65	相馬の古内裏	大判三枚続	弘化2〜3年(1845〜46)頃		○
80	四条縄手の戦い	大判六枚続	安政4年(1857)	○	
8	清盛入道布引滝遊覧 悪源太義平靈討難波次郎	大判三枚続	天保元年(1830)頃		○

義経伝説と源氏の英雄たち

7	洛陽五條橋之図	大判二枚続	天保元年(1830)頃	○	
51	西塔鬼若丸	大判	弘化2年(1845)頃		○
50	鬼若丸	大判	弘化4〜嘉永3年(1847〜50)		○
72	五條橋の戦いにおいて八天狗に助けられる牛若丸	大判三枚続	嘉永3年(1850)	○	
73	源牛若丸僧正坊ニ隋武術を覚図	大判三枚続	嘉永4年(1851)		○
60	堀川夜討土佐坊昌俊遠寄之図	大判三枚続	弘化元〜2年(1844〜45)頃	○	
86	赤沢山大相撲	大判三枚続	安政5年(1858)		○
78	義経功臣 四天王出世鑑之内 亀井六郎	大判三枚続	嘉永2年(1849)	○	
84	和田合戦 朝比奈三郎義秀猛勇怪力之図	大判三枚続	安政4年(1857)		○
1	曾我箱王丸	大判	文化13年(1816)頃	○	
88	真勇競 弁慶	長大判	弘化2〜3年(1845〜46)頃		○
12	樋口治郎	大判	文政9〜10年(1826〜27)頃	○	
14	佐々木三郎盛綱	大判	文政10年(1827)頃		○
44	頼豪阿闍梨 大江匡房卿	大判	天保14年(1843)頃	○	
96	六様性国芳自慢 先負 文覚上人	大判	万延元年(1860)		○
76	文覚上人那智の滝荒行	大判竪三枚続	嘉永4年(1851)頃	○	
75	吉野山合戦	大判竪三枚続	嘉永4年(1851)頃		○

平家物語の勇将たち

41	真田与市能久 俣野五郎景久	大判三枚続	天保6年(1835)頃	○	
4	平知盛亡霊の図	大判三枚続	文政元〜3年(1818〜20)頃		○
9	宇治川合戦之図	大判三枚続	天保2〜3年(1831〜32)頃	○	
69	大物浦平家の亡霊	大判三枚続	嘉永2〜4年(1849〜51)頃		○
90	真勇競 平知盛	長大判	安政3年(1856)	○	
45	大日本六十余州之内 対馬 新中納言知盛	大判	弘化2年(1845)頃		○
46	本朝武優鏡 平知盛	大判	弘化2年(1845)頃		○
37	真田与一義貞 俣野五郎景久	大判	天保14〜弘化元年(1843〜44)頃	○	
36	平惟茂	大判	天保4〜6年(1833〜35)頃		○

川中島合戦

57	武田大膳大夫晴信入道信玄	大判竪二枚続	弘化2年(1845)頃	○	
58	上杉弾正大弼輝虎入道謙信	大判竪二枚続	弘化2年(1845)頃	○	

No.	作品名	判型・形状／材質技法／員数	制作年	前期	後期
85	川中嶋合戦	大判三枚続	安政2年(1855)	○	
81	川中嶋大合戦	大判三枚続	安政元年(1854)	○	
83	甲越川中島大合戦	大判三枚続	嘉永5年(1852)	○	
13	武田勝千代丸	大判	文政10年(1827)頃	○	

頼光四天王

91	列猛伝　足柄金太郎	長大判	安政3年(1856)		○
39	坂田怪童丸	大判	天保7年(1836)頃		○
40	金太郎鬼ヶ嶋遊	大判	天保13年(1842)頃		○
95	六様性国芳自慢　大安　怪童丸	大判	万延元年(1860)		○
94	本朝武者鏡　怪童丸	大判	安政2年(1855)		○
2	源頼光	大判二枚続	文化13年(1816)頃		○
42	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	大判三枚続	天保13～14年(1842～43)		○
10	源頼光	大判	文政12～天保2年(1829～31)頃		○

水滸伝

17	通俗水滸伝豪傑百八人一個　旱地忽律朱貴	大判	文政11～12年(1828～29)頃	○	
20	通俗水滸伝豪傑百八人之一個　船火児張横	大判	文政11～12年(1828～29)頃		○
19	通俗水滸伝豪傑百八人之舌人　短冥次郎阮小吾	大判	文政11～12年(1828～29)頃	○	
21	通俗水滸伝豪傑百八人之一人　花和尚魯知深　初名魯達	大判	文政10年(1827)頃		○
18	通俗水滸伝豪傑百八人之舌人　浪裡白跳張順	大判	文政11～12年(1828～29)頃	○	
22	通俗水滸伝豪傑百八人一個　鼓上蚤時遷	大判	文政11～12年(1828～29)頃	○	
23	通俗水滸伝豪傑百八人之一個　活閻羅阮小七	大判	文政10～天保元年(1827～30)頃	○	
24	通俗水滸伝豪傑百八人之一個　智多星呉用	大判	文政10年(1827)頃		○
25	通俗水滸伝豪傑百八人之一個　赤髮鬼劉唐、玉麒麟盧俊義、樸天鷗李應　設遮欄穆弘	大判三枚続	天保元～2年(1830～31)頃	○	
26	通俗水滸伝豪傑百八人之一個　白花蛇楊春、神機軍師朱武、九紋龍史進、跳澗虎陳達	大判三枚続	天保元～2年(1830～31)頃		○

本朝水滸伝

28	本朝水滸伝剛勇八百人一個　土喜大四郎元貞	大判	天保4～6年(1833～35)頃	○	
27	本朝水滸伝豪傑八百人一個　早川點之助	大判	天保2年(1831)頃		○
29	本朝水滸伝剛勇八百人一個　下瀬加賀	大判	天保2年(1831)頃	○	
30	本朝水滸伝剛勇八百人一個　犬江親兵衛仁	大判	天保7年(1836)頃		○
31	本朝水滸伝剛勇八百人一個　鷺池平九郎	大判	天保4～6年(1833～35)頃	○	
32	本朝水滸伝剛勇八百人一個　宮本無三四	大判	天保4～6年(1833～35)頃		○
33	本朝水滸伝剛勇八百人一個　岩沼吉六郎信里	大判	天保4～6年(1833～35)頃	○	
34	本朝水滸伝剛勇八百人一個　渡辺源二綱	大判	天保7年(1836)頃		○
35	本朝水滸伝豪傑八百人一個　天眼礧兵衛	大判	天保2年(1831)頃	○	

名將と四天王

39	坂田怪童丸	大判	天保7年(1836)頃	○	
3	源頼光と四天王に襲いかかる土蜘蛛	大判三枚続	文政(1818～30)初期	○	
87	酒田公時、碓井貞光、源次綱と妖怪	大判三枚続	文久元年(1861)	○	
5	三井寺合戦　新田四天王勇力	大判三枚続	文政3～6年(1820～23)頃	○	
70	稲葉山中におゐて荒猪を生捕たる強勇を大将の目にとまり臣下とす	大判三枚続	嘉永元～3年(1848～50)頃	○	
53	太平記英勇伝　織尾茂助安春	大判	嘉永元～2年(1848～49)	○	
43	那伽犀那尊者	大判	天保7年(1836)頃	○	
55	誠忠義士肖像　箭田五郎左工門助武	大判	嘉永5年(1852)	○	
47	国芳もやう正札附現金男　野晒悟助	大判	弘化2年(1845)頃	○	
49	国芳模様正札附現金男　団七九郎兵衛	大判	弘化2年(1845)頃	○	
48	国芳もやう正札附現金男　唐犬権兵衛	大判	弘化2年(1845)頃	○	

物語のヒーローたち

77	里見八犬伝　犬塚信乃、犬飼現八	大判二枚続	嘉永2～3年(1849～50)		○
79	楠家勇士四条縄手にて討死	大判三枚続	嘉永4年(1851)		○
82	信州小田井合戦図	大判三枚続	嘉永3～4年(1850～51)		○
89	列猛伝　宮本武三四	長大判	弘化2～3年(1845～46)頃		○
15	美家本武蔵	大判	文政9～10年(1826～27)頃		○
6	忠臣蔵十一段目　両国橋勢揃図	大判三枚続	文政10年(1827)頃		○
54	誠忠義士肖像　潮田政之丞高教	大判	嘉永5年(1852)		○
366	『東西海陸紀行』（ニューホフ著）	洋書／一冊	1682年		○
56	誠忠義士肖像　中村勘助正辰	大判	嘉永5年(1852)		○
52	誠忠義士伝　富守祐右衛門正固	大判	弘化4年(1847)		○

No.	作品名	判型・形状／材質技法／員数	制作年	前期	後期
16	魔津伊多見治郎	大判	文政9～10年(1826～27)頃		○
11	天竺徳兵衛	大判	文政9～10年(1826～27)頃		○
38	出雲伊磨	大判	天保4～6年(1833～35)頃		○

人知を超える力

68	豊前国与次兵衛灘	大判三枚続	嘉永3年(1850)	○	
99	玉取り	大判三枚続	弘化4年(1847)頃		○
62	美盾八競　神崎秋月　樋口次郎兼光	大判三枚続	弘化3年(1846)	○	
61	美盾八競　晴嵐　宮本無三四	大判三枚続	弘化2～3年(1845～46)頃		○
101	龍宮城　田原藤太秀郷に三種の土産を贈	大判三枚続	安政5年(1858)	○	
71	江州坂本入江の浪士白狐にたぶらかさるゝ図	大判三枚続	嘉永2年(1849)		○
104	高祖御一代略図　佐州流刑角田波題目	横大判	天保6年(1835)頃	○	
105	高祖御一代略図　佐州塚原雪中	横大判	天保6年(1835)頃		○
93	本朝武者鏡　橋姫	大判	安政2年(1855)	○	
98	百人一首之内　大納言経信	大判	天保13年(1842)頃	○	
107	木曾街道六十九次之内　六十八　守山　達磨大師	大判	嘉永5年(1852)		○
108	周易八卦絵　震雷	大判	天保10～12年(1839～41)頃		○
92	本朝武者鏡　天竺徳兵衛　がま仙人	大判	安政2年(1855)	○	
97	百人一首之内　崇徳院	大判	天保13年(1842)頃	○	
102	和漢準源氏　玉かつら　武内宿祢得干珠満珠	大判	安政2年(1855)		○
109	周易八卦絵　巽風	大判	天保10～12年(1839～41)頃		○
106	二十四孝童子鑑　大舜	横大判	天保14～弘化元年(1843～44)頃	○	
103	和漢準源氏　蓬生　桃太郎	大判	安政2年(1855)		○

2. 戯画―奇想天外なユーモア

笑い・遊び

273	百亀家久　かるわざ・四天王の見立	中判二丁掛	天保13年(1842)頃	○	
276	金魚づくし　いかだのり	中判	天保13年(1842)頃		○
280	道外狐へん化のけいこ	横大判	天保13年(1842)頃	○	
274	かゑるづくし	大判	天保13年(1842)頃		○
309	かちかち山	団扇絵判	弘化2～3年(1845～46)頃	○	
303	狸ト狐の遊	団扇絵判	天保13年(1842)頃		○
304	諸鳥やすうりづくし	団扇絵判	天保13年(1842)頃	○	
305	雀の百狂　鳥さし	団扇絵判	弘化元年(1844)頃	○	
283	流行うきよひやうたん　へうたんからこま・へうたんなまづ・花見のすいづゝ	団扇絵判	弘化元～3年(1844～46)頃		○
302	流行うきよひやうたん　もんがくひやうたん・せいだかやうたん・こんがらひやうたん	団扇絵判	弘化元～3年(1844～46)頃		○
300	道外化粧のたわむれ　大森	団扇絵判	弘化元～3年(1844～46)頃	○	
301	道外化粧のたわむれ　花火	団扇絵判	弘化元～3年(1844～46)頃	○	
306	しんぼふくらべ　ごゝろの竹沢	団扇絵判	弘化元年(1844)		○
307	こまの竹沢藤治のきゝもの　たるまはし	団扇絵判	弘化元年(1844)		○
298	絵鏡台合かゝ身　三福神／へび・かへる・まいまいつぶり	団扇絵判二枚組	天保13年(1842)頃	○	
297	絵鏡台合かゝ身　牛若丸・弁慶／かふもり・おにがはら	団扇絵判二枚組	天保13年(1842)頃		○
299	絵鏡台合かゝ身　猫／しし・みみづく・はんにやあめん	団扇絵判二枚組	天保13年(1842)頃		○
310	駕籠かきの玩具	団扇絵判	弘化元年(1844)頃	○	
308	嵌め絵　こま	団扇絵判	弘化元年(1844)		○
313	朝比奈三郎義秀小人じま遊	大判	弘化4年(1847)	○	
314	朝比奈義秀小人遊	大判	弘化4年(1847)		○
312	流行達磨遊び　蕎麦・首引き	横大判	天保10～13年(1839～42)頃	○	
311	流行達磨遊び　手が出る足が出る	横大判	天保10～13年(1839～42)頃		○
327	人かたまつて人になる	大判	弘化4年(1847)頃	○	
328	としよりのよふな若い人だ	大判	弘化4年(1847)頃		○
277	一頭多体図	大判	天保10～13年(1839～42)頃	○	
329	人をばかにした人だ	大判	弘化4年(1847)頃		○
272	化物忠臣蔵	大判三枚続	天保10～13年(1839～42)頃	○	
278	欠留人物更紗　十四人のからだにて三十五人にミゆる	横大判	天保13年(1842)頃		○
279	道外化もの夕涼	横大判	天保13年(1842)頃	○	
335	龍宮遊さかなげいづくし	大判三枚続	弘化4年(1847)頃		○
282	道外化もの百物がたり	横大判	天保13年(1842)頃	○	
281	道外獣の雨やどり	横大判	天保13年(1842)頃		○

No.	作品名	判型・形状／材質技法／員数	制作年	前期	後期
286	流行猫の狂言づくし いがミのごん太ほか	大判	天保12～13年(1841～42)頃		○
284	流行猫の曲手まり	大判	天保12年(1841)	○	
287	流行猫の狂言づくし 熊ヶ谷次郎直実ほか	大判	天保12～13年(1841～42)頃		○
291	猫の曲まり	団扇絵判	天保12年(1841)	○	
333	古猫妙術説	大判	弘化4～嘉永3年(1847～50)		○
289	猫の源氏 賢木	団扇絵判	天保13年(1842)頃	○	
290	くつろぐ夏の猫美人たち	団扇絵判	天保13年(1842)頃		○

風刺・ユーモア

320	猫のおどり	団扇絵判	天保12年(1841)頃	○	
318	猫の百面相 忠臣蔵	団扇絵判	天保12年(1841)頃	○	
317	猫の百面相 荒獅子男之助ほか	団扇絵判	天保12年(1841)頃		○
319	似たか金魚	団扇絵判	天保13年(1842)頃		○
294	猫の左仮	団扇絵判	弘化3年(1846)	○	
292	二面臚猫絵	団扇絵判	天保12～13年(1841～42)頃	○	
293	猫のお万が飴	団扇絵判	天保12～13年(1841～42)頃		○
295	おぼろ月猫の盛	団扇絵判	弘化3年(1846)		○
321	流行猫のおも入	大判	天保12～13年(1841～42)頃	○	
322	流行猫の戯 梅が枝無間の真似	大判	弘化4年(1847)頃		○
316	魚の心	大判	天保13年(1842)頃	○	
323	流行猫の戯 道行 猫柳淫月影	大判	弘化4年(1847)頃		○
336	其まゝ地口 猫飼好五十三疋	大判三枚続	嘉永元年(1848)頃	○	
337	たとゑ尽の内	大判三枚続	嘉永5年(1852)		○
288	猫の当字 ふぐ	大判	天保13年(1842)頃	○	
285	流行猫の狂言づくし 団七九郎兵衛ほか	大判	天保12～13年(1841～42)頃		○
275	きん魚づくし ぼんぼん	中判	天保13年(1842)頃		○
315	朝比奈小人嶋遊	大判三枚続	弘化4年(1847)		○
296	流行猫の変化	大判	天保12～13年(1841～42)頃		○
330	其面影程能写絵 おかつり／ゑびにあかがひ	大判二枚組	嘉永元年(1848)頃	○	
331	其面影程能写絵 獵人にたぬき／金魚にひごいっ子	大判二枚組	嘉永元年(1848)頃	○	
332	其面影程能写絵 弁けい／たいこもち	大判二枚組	嘉永元年(1848)頃		○
326	みかけハこハるがとんだいゝ人だ	大判	弘化4年(1847)頃		○
367	みかけハこハるがとんだいゝ人だ 板木	一枚	弘化4年(1847)頃		○
368	みかけハこハるがとんだいゝ人だ 新摺品	大判	現代		○
324	白面笑壁のむだ書	大判三枚組	嘉永元年(1848)頃	○	
325	当ル奉納願お賀久面	大判三枚続	嘉永元年(1848)頃		○
334	里すゞめねぐらの仮宿	大判三枚続	弘化3年(1846)	○	

歌川国芳

364	国芳死絵(落合芳幾画)	大判	文久元年(1861)	○	
365	国芳死絵(歌川芳富画)	大判	文久元年(1861)		○
376	書簡	紙本墨書／一紙	(年不明)6月27日		○

3. 肉筆―奇才の筆

384	豆まき	扇面／紙本墨画／一面	天保(1830～44)中期頃	○	
379	七代目岩井半四郎の三浦屋の揚巻	紙本着色／一幅	天保15～弘化2年(1844～45)	○	
389	水を呑む大蛇	絹本淡彩／一幅	弘化・嘉永期(1844～54)		○
380	五代目市川海老蔵の暫	紙本淡彩／一幅	天保13～弘化元年(1842～44)頃	○	
385	鶏、烏天狗と怪童丸	紙本淡彩／一幅	天保(1830～44)前期頃		○
382	八代目市川団十郎の死絵	(上部)山水図:紙本墨画、 (下部)肖像:絹本着色／一幅	嘉永7年(1854)頃	○	
387	三人上戸図	紙本淡彩／一幅	弘化・嘉永期(1844～54)		○
377	万歳図	絹本淡彩／一幅	文政(1818～30)末期～ 天保(1830～44)初期頃	○	
383	鷹奴	紙本淡彩／一幅	天保7年(1836)		○
386	大黒天図	紙本墨画／一幅	嘉永5年(1852)	○	
390	浅茅ヶ原一ツ家の図	絹本着色／一面	安政期(1854～60)頃		○
388	鍾馗図	絹本墨画／一幅	安政期(1854～60)頃	○	
392	忠臣蔵五十三次 四日市・桑名	絹本着色／一幅	嘉永3～4年(1850～51)頃		○

No.	作品名	判型・形状／材質技法／員数	制作年	前期	後期
381	十返舎一九肖像	紙本淡彩／一幅	天保2～3年(1831～32)頃	○	
393	忠臣蔵五十三次 興津・由井	絹本着色／一幅	嘉永3～4年(1850～51)頃		○
391	東海道中膝栗毛三島宿図	絹本着色／二曲一隻	弘化・嘉永期(1844～54)	○	
401	神功皇后図	絹本着色／一幅	嘉永期(1848～54)頃		○
395	浴衣を抱える美人	絹本着色／一幅	弘化・嘉永期(1844～54)		○
394	夏衣美人図	絹本着色／一幅	弘化・嘉永期(1844～54)	○	
378	煙草を吸う女、反物を持つ女	紙本着色／一幅	天保(1830～44)前期		○
397	遊女道中図	絹本着色／一幅	弘化・嘉永期(1844～54)	○	
399	立美人図	絹本着色／一幅	弘化・嘉永期(1844～54)		○
398	遊女図	絹本着色／一幅	弘化・嘉永期(1844～54)	○	
396	遊女図	絹本着色／一幅	弘化・嘉永期(1844～54)		○
400	白拍子静図	絹本着色／一幅	弘化・嘉永期(1844～54)	○	
402	遊女地獄図	紙本淡彩／一幅	天保(1830～44)末期頃		○

4. 摺物と動物画—こだわりの奇品

245	汐干五番内 其一～其五	色紙判摺物／五枚続	文政12年(1829)頃	○	
248	修紫田舎源氏	色紙判摺物／二図	天保7年(1836)頃		○
249	栈橋の芸者	色紙判摺物／二枚続	天保7年(1836)頃	○	
250	花魁	扇面形摺物	弘化(1844～48)中期～ 嘉永(1848～54)中期頃		○
239	撫で牛	色紙判摺物	文政12年(1829)	○	
244	風俗女水滸伝 壹百八人ノ内 詠小二 汐汲五番続 其三	色紙判摺物	文政10～11年(1827～28)頃		○
243	床の間の琴	色紙判摺物	文政10～11年(1827～28)頃	○	
246	風俗女水滸伝 土器投げ	色紙判摺物	文政11年(1828)頃		○
251	花車 五節句賛	全紙判摺物	天保8年(1837)頃	○	
240	不二五番之内 江の島	色紙判摺物	文政(1818～30)末～ 天保(1830～44)初期頃		○
241	不二五番之内 奇岩	色紙判摺物	文政(1818～30)末～ 天保(1830～44)初期頃		○
237	下総野田柏樹園 立春	色紙判摺物	文政10～12年(1827～29)頃	○	
247	豊干と虎	色紙判摺物	文政13年(1830)		○
242	捕手をとりひしぐ七代目市川团十郎	色紙判摺物	文政10～11年(1827～28)頃	○	
238	平戸 緋緘力弥	色紙判摺物	文政(1818～30)末期～ 天保(1830～44)初期		○
254	東西大関俳優(歌川国芳・三代歌川豊国・梅素亭玄魚合筆)	全紙判摺物	嘉永3年(1850)	○	
253	大筒を抱える四代目中村歌右衛門	色紙判摺物	弘化2～3年(1845～46)頃		○
252	八代目市川团十郎の暫	色紙判摺物	天保3年(1832)		○
256	八代目市川团十郎追悼摺物(歌川国芳・三代歌川豊国合筆)	長判摺物	嘉永7年(1854)	○	
255	瓢箪に画帖(歌川国芳・柴田是真合筆)	全紙判摺物	嘉永2年(1849)		○
267	魚づくし 蟹と亀	中短冊判	天保13年(1842)頃	○	
269	鯉の滝のぼり	大判豎二枚続	弘化2～3年(1845～46)		○
257	鼠よけの猫	大判	天保13年(1842)頃	○	
268	魚づくし えびざこ	中短冊判	天保13年(1842)頃		○
263	魚づくし なまず・真鯉	中短冊判二丁掛	天保13年(1842)頃	○	
264	魚づくし ふぐに赤えい・金魚に目高	中短冊判二丁掛	天保13年(1842)頃		○
265	魚づくし 岩に取りつく蛸・杭に寄る鮒	中短冊判二丁掛	天保13年(1842)頃	○	
266	魚づくし 金魚に目高	中短冊判	天保13年(1842)頃		○
271	竹に虎	大判豎二枚続	天保13年(1842)頃	○	
262	禽獣図絵 獅子	大判	天保10～12年(1839～41)頃		○
261	禽獣図絵 龍虎	大判	天保10～12年(1839～41)頃	○	
258	双龍図	大判	天保2～3年(1831～32)頃		○
259	龍図	大判	天保2～3年(1831～32)頃	○	
260	応龍	大判	天保2～3年(1831～32)頃		○
270	雲龍図	大判豎二枚続	天保13年(1842)頃		○

5. 風俗・情報・資料—広がる奇想

342	大漁鯨のにぎわひ	大判三枚続	嘉永4年(1851)	○	
343	七浦大漁繁昌之図	大判三枚続	嘉永6年(1853)		○
345	風流角力数面	大判	天保(1830～44)後期頃	○	

No.	作品名	判型・形状／材質技法／員数	制作年	前期	後期
346	生月鯨太左工門	大判	天保15年(1844)		○
347	鬼若力之助	大判	嘉永3年(1850)	○	
348	鬼若力之助	横大判	嘉永3年(1850)		○
349	上総国武射郡戸田村産 勝の浦門人 鬼若力之助	大判	嘉永3年(1850)	○	
338	疱瘡絵 鍾馗	大判	天保7年(1836)頃		○
360	為朝と疱瘡神	大判二枚続	嘉永4年(1851)頃	○	
361	鍾馗散 邪鬼に即功	大判二枚続	安政5年(1858)		○
339	子供あそびのうち 川がり	横大判	天保12～13年(1841～42)頃	○	
341	高輪大木戸の大山講と富士講	大判三枚続	天保(1830～44)前期頃		○
340	新板子供遊びの内 雪あそび	横大判	天保12～13年(1841～42)頃	○	
344	火用心	大判	嘉永4年(1851)	○	
359	てるてる坊主おひよりおどり	大判	嘉永2年(1849)		○
350	林屋正蔵工夫の怪談 百物語化物屋敷の図	横大判	天保10～12年(1839～41)頃	○	
351	竹沢藤次曲独楽 九尾の狐三国渡	横大判	天保15年(1844)		○
352	竹沢藤次曲独楽 お岩稲荷	横大判	天保15年(1844)	○	
356	浅草奥山生人形	大判二枚続	安政2年(1855)		○
353	竹沢藤治 三曲うかれの大独楽大仕かけ	団扇絵判	嘉永2年(1849)		○
354	風流人形	中判三枚続	安政3年(1856)	○	
362	宝船(歌川国貞・溪斎英泉・歌川国芳画)	大判三枚続	天保(1830～44)末期頃		○
355	浅茅ヶ原一ツ家の図	長判	安政5年(1858)	○	
363	月夜の盗賊・獅子舞・箱根湖上之不二(歌川国芳・歌川国貞・歌川広重画)	大判	安政5年(1858)		○
358	当世人形つくりの内 不動明王 祐天	大判	安政3年(1856)	○	
357	石橋 早竹虎吉	大判	安政4年(1857)		○
374	花見の御女中 版下絵	紙本墨画淡彩	安政元年(1854)頃	○	
373	雲龍久吉 版下絵	紙本墨画淡彩	安政3年(1856)		○
372	浄瑠璃尽 神霊矢口渡 下絵	紙本墨画	天保(1830～44)後期頃	○	
375	庭前美撰花 版下絵	紙本墨画淡彩	安政元年(1854)		○
371	八代目市川団十郎の神谷仁右衛門、四代目市川小団次の於岩のぼうこん	大判	嘉永元年(1848)		○
370	八代目市川団十郎の神谷仁右衛門、四代目市川小団次の於岩のぼうこん 新摺品	大判	現代		○
369	八代目市川団十郎の神谷仁右衛門、四代目市川小団次の於岩のぼうこん 板木	一枚	嘉永元年(1848)		○

6. 役者絵—名優奇優を描く

111	春けしき王子詣 三枚続	大判三枚続	文化12年(1815)頃	○	
115	芝神明宮境内にて六波羅観世音開帳参詣群集の図	大判三枚続	天保6年(1835)		○
110	三代目坂東三津五郎の山かつ、三代目尾上菊五郎の金太郎	細判	文化12年(1815)		○
118	三代目関三十郎の小西是斎	大判	天保11年(1840)	○	
117	十二代目市村羽左衛門の春永	大判	天保11年(1840)		○
119	四代目中村歌右衛門の浪花二郎作	大判	天保11年(1840)	○	
120	三代目嵐吉三郎の佐藤政清	大判	天保11年(1840)		○
121	五代目市川海老蔵の毛刺九右衛門	大判	天保11年(1840)	○	
124	四代目坂東彦三郎の神田川の与吉	大判	嘉永2年(1849)		○
116	見立俳優八犬士 三代目尾上菊五郎の犬塚信乃、四代目中村歌右衛門の犬飼現八	大判二枚続	天保11年(1840)頃	○	
112	三代目中村歌右衛門の鬼一、三代目尾上梅幸の牛若	大判二枚続	文化12年(1815)		○
113	二代目関三十郎の鶉飼九十郎、三代目尾上菊五郎の玉屋新兵衛	大判	文政7年(1824)	○	
114	五代目瀬川菊之丞の小金、三代目尾上菊五郎の彦惣	大判	文政7年(1824)		○
123	東都流行三十六会席 今戸 大工六三郎	大判	嘉永5年(1852)	○	
122	四代目大谷友右衛門の安達元右衛門、三代目嵐璃寛の早瀬伊織	大判	嘉永7年(1854)		○

歌舞伎のスペクタクル

136	尾上梅寿一代噺	大判三枚続	弘化4年(1847)	○	
137	児雷也豪傑譚語	大判三枚続	嘉永5年(1852)		○
139	八代目市川団十郎の将門子息將軍太郎、初代坂東しうかの将門息女瀧夜刃姫、十二代目市村羽左衛門の大宅太郎光国	大判三枚続	嘉永2～4年(1849～51)頃	○	
138	四代目坂東彦三郎の左大臣道平の霊、八代目市川団十郎の仁木弁之助	大判二枚続	嘉永2年(1849)		○
141	五拾三次之内 岡崎の場	大判三枚続	天保6年(1835)	○	
140	東海道四谷怪談	大判二枚続	天保7年(1836)		○
143	日本駄右エ門猫之古事	大判三枚続	弘化4年(1847)		○
142	昔ばなしの戯 猫又年をへて古寺に怪をなす図	大判三枚続	弘化4年(1847)		○
144	五十三駅 岡崎	横大判	弘化4年(1847)	○	
145	相模国大山寺石尊宮朝山図	大判三枚続	嘉永7年(1854)		○

No.	作品名	判型・形状／材質技法／員数	制作年	前期	後期
団扇絵					
132	初代坂東しうかの足利光氏	団扇絵判	嘉永2～5年(1849～52)	○	
130	初代坂東しうかの虎藏実ハ牛若丸	団扇絵判	弘化4～嘉永3年(1847～50)		○
133	十二代目市村羽左衛門の足利光氏	団扇絵判	嘉永2～5年(1849～52)	○	
134	初代坂東しうかの三浦屋揚巻	団扇絵判	嘉永3年(1851)頃		○
127	当国三ツの狩 葺かり	団扇絵判	弘化4～嘉永元年(1847～48)	○	
135	八代目市川団十郎の揚巻ノ助六	団扇絵判	嘉永3年(1851)頃		○
126	当国三ツの狩 川かり	団扇絵判	弘化4～嘉永元年(1847～48)	○	
131	五代目沢村長十郎の足利光氏	団扇絵判	嘉永2～5年(1849～52)		○
125	当国三ツの狩 ほたるかり	団扇絵判	弘化4～嘉永元年(1847～48)	○	
128	夏の夜げしき 三代目岩井衆三郎	団扇絵判	嘉永5年(1852)		○
129	夏の夜げしき 八代目市川団十郎	団扇絵判	嘉永5年(1852)	○	
173	名酒揃 笹の丸	団扇絵判	弘化2～3年(1845～46)頃		○
168	手すりにもたれる遊女	団扇絵判	天保13年(1842)頃	○	
166	五行之内 西瓜の水性	団扇絵判	天保14～弘化元年(1843～44)頃		○
155	当世三婦苦対 遊女	団扇絵判	天保4年(1833)	○	
156	春の虹蛭	団扇絵判	天保7年(1836)		○
154	当世三婦苦対 湯帰り	団扇絵判	天保4年(1833)	○	
157	渚の珠	団扇絵判	天保7年(1836)頃		○
174	こころの辻うら	団扇絵判	弘化2～3年(1845～46)頃	○	
165	五行之内 針の金性	団扇絵判	天保14～弘化元年(1843～44)頃		○
198	今様六夏撰 蚊帳	団扇絵判	嘉永6年(1853)	○	
167	新良万造 爪切り	団扇絵判	天保14～弘化元年(1843～44)頃		○
194	浮夜八会 大森の駕籠	団扇絵判	弘化4～嘉永3年(1847～50)	○	
199	今様六夏撰 昼寝	団扇絵判	嘉永6年(1853)		○
196	いまよう七婦喜人 ふくろく	団扇絵判	嘉永2～5年(1849～52)	○	
169	鏡面シリーズ 櫛持つ美人	団扇絵判	弘化2年(1845)頃		○
201	東都三大橋の内 大川橋	団扇絵判	嘉永6年(1853)	○	
170	鏡面シリーズ 元結	団扇絵判	弘化2年(1845)頃		○
202	高名松つくし	団扇絵判	安政元年(1854)	○	
171	鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘	団扇絵判	弘化2年(1845)頃		○
164	子供諸芸膳方 常磐津	団扇絵判	天保13年(1842)	○	
197	艶曲揃 山帰強桔梗	団扇絵判	嘉永6年(1853)		○
163	夏げしき昼夜どけい ひる七つ時	団扇絵判	弘化元年(1844)頃	○	
195	美立吼囃	団扇絵判	嘉永2年(1849)		○
162	夏げしき昼夜どけい 夜四つ時	団扇絵判	弘化元年(1844)頃	○	
203	六景色 浅草寺のゆき	団扇絵判	安政元年(1854)		○
172	名酒揃 松緑	団扇絵判	弘化2～3年(1845～46)頃	○	
200	今様六夏撰 土用見舞	団扇絵判	嘉永6年(1853)		○

7. 美人画―粹と奇麗

146	雪月花 月	大判	文政7年(1824)頃	○	
147	雪中傘持つ娘	大判豎二枚続	天保元～3年(1830～32)頃		○
148	芸者	大判	天保(1830～44)前期	○	
149	花魁	大判	天保(1830～44)前期		○
150	囲い女	大判	天保(1830～44)前期	○	
151	軽子	大判	天保(1830～44)前期		○
152	当盛江戸鹿子 三めぐり	大判	天保4～6年(1833～35)頃	○	
158	美人子供十二ヶ月シリーズ 皐月川開 両国ばし	大判	天保7～8年(1836～37)頃	○	
153	松葉屋内代々山 中万字屋内ハッ橋 扇屋内花扇	大判三枚続	天保4年(1833)頃		○
159	美人子供十二ヶ月シリーズ 文月の七夕	大判	天保7～8年(1836～37)頃	○	
160	美人子供十二ヶ月シリーズ 清月の月	大判	天保7～8年(1836～37)頃	○	
161	船橋屋前	大判三枚続	天保(1830～44)後期		○
176	忠孝名誉奇人伝 梶女	大判	弘化元～3年(1844～46)頃	○	
179	風流六花撰	大判	天保14年(1843)頃		○
177	艶姿十六女仙 豊干禅師	大判	弘化4～嘉永元年(1847～48)	○	
178	絵兄弟やさすかた 鶴退治	大判	弘化2～3年(1845～46)頃		○
175	忠孝名誉奇人伝 兼女	大判	弘化2～3年(1845～46)頃		○

No.	作品名	判型・形状／材質技法／員数	制作年	前期	後期
209	見立五行 土 とこなつ	大判三枚続	弘化4～嘉永5年(1847～52)頃	○	
210	見立五行 火 かがり火	大判三枚続	弘化4～嘉永5年(1847～52)頃	○	
211	夜の縁側	大判三枚続	嘉永4年(1851)頃		○

国芳美人

208	暑中の夕立	大判三枚続	嘉永2～4年(1849～51)	○	
207	梅の魁	大判三枚続	嘉永元～3年(1848～50)頃		○
190	隅田川之朝霧	大判三枚続	嘉永元～4年(1848～51)頃	○	
191	三ッの猿夜の賑ひ	大判三枚続	弘化4～嘉永元年(1847～48)		○
192	東都東叡山の図	大判三枚続	弘化4～嘉永元年(1847～48)頃	○	
189	屠蘇機嫌三人生酔	大判三枚続	弘化3年(1846)		○
180	大願成就有ヶ滝綺 金太郎鯉つかみ	大判	弘化2～3年(1845～46)頃	○	
181	大願成就有ヶ滝綺 箱根山玉簾の滝	大判	弘化2～3年(1845～46)頃		○
182	夜参り八景 一ツ目	大判	弘化2～3年(1845～46)頃	○	
183	夜参り八景 四日市	大判	弘化2～3年(1845～46)頃		○
204	山海愛度図会 七 ラーいたい 越中滑川大蛸	大判	嘉永5年(1852)	○	
205	目出度図絵 六十八 どぶぞよさせたい 壱岐くじら	大判	嘉永5年(1852)		○
206	山海めてたいづゑ 十九 はやくきめたい 播州高砂蛸	大判	嘉永5年(1852)		○
184	東都風景高輪虹蛸	大判三枚続	弘化2～3年(1845～46)頃	○	
185	駒形の朝霧	大判三枚続	弘化3年(1846)頃		○
188	八町づゝみ夜のけい	大判三枚続	弘化2～3年(1845～46)頃	○	
187	夜の桜	大判三枚続	弘化(1844～48)		○
193	当盛今戸の夜ざしき	大判三枚続	弘化4～嘉永元年(1847～48)頃	○	
186	四季遊観 納涼のほたる	大判三枚続	弘化2～3年(1845～46)頃		○

8. 風景—新奇の構図

214	忠臣蔵十一段目夜討之図	横大判	天保2～3年(1831～32)頃	○	
366	『東西海陸紀行』(ニューホフ著)	洋書／一冊	1682年	○	
215	近江の国の勇婦於兼	横大判	天保2～3年(1831～32)頃		○
223	東都首尾の松之図	横大判	天保2～3年(1831～32)頃		○
216	東都名所 佃嶋	横大判	天保3～4年(1832～33)頃	○	
222	東都御厩川岸之図	横大判	天保2～3年(1831～32)頃		○
217	東都名所 かすみが関	横大判	天保3～4年(1832～33)頃	○	
219	東都名所 両国柳ばし	横大判	天保3～4年(1832～33)頃		○
218	東都名所 てつぼふづ	横大判	天保3～4年(1832～33)頃	○	
220	東都名所 両国の涼	横大判	天保3～4年(1832～33)頃		○
221	東都名所 新吉原	横大判	天保3～4年(1832～33)頃	○	
225	東都宮戸川之図	横大判	天保2～3年(1831～32)頃		○
224	東都橋場之図	横大判	天保2～3年(1831～32)頃	○	
226	東都三ッ股の図	横大判	天保2～3年(1831～32)頃		○
228	大山良弁瀧之図	横大判	天保13年(1842)頃	○	
231	東都富士見三十六景 山王神事雪解の富士	横大判	天保14年(1843)頃		○
229	相州大山大道田村渡の景	横大判	天保13年(1842)頃	○	
232	東都富士見三十六景 新大はし橋下の眺望	横大判	天保14年(1843)頃		○
230	大山石尊大瀧之図	横大判	天保13年(1842)頃	○	
233	東都富士見三十六景 昌平坂の遠景	横大判	天保14年(1843)頃		○
235	相州江之嶋之図	大判三枚続	嘉永2～4年(1849～51)	○	
236	相模州大住郡雨降大山全図	大判三枚続	嘉永2～4年(1849～51)頃		○
212	山海名産尽 伊勢鯉	大判	天保(1830～44)初期頃	○	
213	山海名産尽 相模ノ堅魚	大判	天保(1830～44)初期頃		○
234	東海道五拾三次人物誌 平塚	横大判	嘉永2年(1849)頃	○	
227	本朝名橋之内 江都日本橋略図	大判三枚続	天保7～9年(1836～38)頃		○

KUNIYOSHI

The Spellbinding Ukiyo-e Works of an Eccentric Artist